

2012年11月8日(木) 8:00~10:50 後期第5回

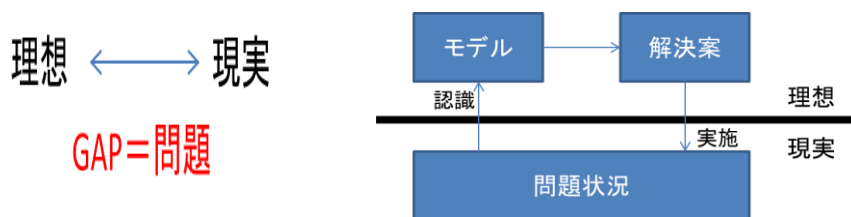
- ・7期生1次募集結果：合格者6名(内訳：男2女4)
2次募集を実施する。面接日は11月29日(?)
もし1次募集不合格者の応募があった場合、2次募集では1次募集での評価を考慮しない。
- ・来週(11月15日)の朝ゼミには1次募集合格者が参加。
- ・貸出iPadは各自固定(各人番号指定)制になったので機材番号を忘れないように。
- ・いいね金沢動画コンテスト出品作品は11月22日までに仕上げを。
- ・11月24日(土)ベネッセ challenge の事前課題が変更。資生堂 ver.となる。
- ・11月29日(木)ゼミで和田さんの実験(議論活性化検証)
- ・12月の予定
卒論の分野設定/iPad借用(~1月末)/先輩の論文批評(評価)

・本日の小咄(担当者：先生)―「電子本の著作権管理 DB」

大日本印刷は電子書籍の著作権を効率的に管理するサービスを始める。章ごとの情報をひもづけて ID で管理できるシステムとなっている。

電子書籍は長い目で見れば普及するだろう。企業では導入しつつあるが、大学ではまだ兆しすらない。そのネックの一つが著作権管理である。Open course はもちろんこれをしっかりと行っている。例えば AFP(Agence France-Presse)の world academic archive を利用すれば私たちはすべての記事・写真・映像を自由に二次利用することができる。それは掲載物すべてが使用許諾済だからだ。アカデミック用なら年間300万円程度の費用がかかる。ニュース用よりも解像度は低くなっている。もし個人で利用したい場合は1か月18万円(30点以内)。次回の小咄は大内・犬伏。

- ・卒論：問題設定の仕方
- ・「問題」とは何か？：理想と現実とのギャップを指す。



- ・問題の本質追求→本当は問題でない可能性もある。その問題は少数意見かもしれない。
- ・問題解決のアプローチ
選択の自由がない制約条件・境界条件・環境条件(コストやハード等)を考慮する必要がある。
- 1,固有工学的アプローチ
- 2,数理・情報工学的アプローチ：プログラムの改良
- 3,情報システム的アプローチ：情報システム開発
- 4,心理学的アプローチ
- 5,組織的アプローチ：人(誰にやらせるのか)
- 6,システム的アプローチ：特性要因図
- ・コスト/パフォーマンス分析=(1-不満率)/コスト
しかし私たちの場合はここまで検討する必要はない。
- ・一般的問題解決プロセス：曼荼羅モデル(p50 図 2-3 参照)

2012年11月8日(木) 8:00~10:50 後期第5回

・卒論企画書では「自身のテーマにおいて何が問題なのか？」を明確にすることが必要。

Ex1.医療情報

(現実)情報共有は数か月スパンの定期会議でしか出来ていない。

(理想)院内感染の情報をすぐに(即座に)共有出来るようにすべき。

Ex2.映像シラバス

(現実)生徒はシラバスを読まない

(理想)映像使用によってその授業の良い部分を効果的に伝えられる。そのため生徒もシラバスを読む。

・就活準備

某人材コンサルの問題

問)新潟⇔佐渡島を就航するフェリーが赤字である。改善策を考えよ。

各々の意見は省略。

解法)思考プロセスを見る問題。多摩モノレールのように市にバックアップしてもらおう案などが考えられる。

安易な手法には頼らない。そして外部要因と内部要因に分解して考え、因果関係で詰めていく。